

## 【熊本県納税貯蓄組合連合会会長賞】

### 税と私達の暮らし

天草市立本渡中学校

二年 山崎 織美亜

久しぶりに母と、ジョギング用の靴を買いに行った。優柔不断で即決できない私に母が急かした。欲しいなと思った靴は、税込み価格で表示しており、少し高いなと思ったが、母が買ってくれた。会計後、レシートを見ると、消費税が10%。やはり高い。普段買い物する時は、そんなに深く考えないけど、少し格好いい物を選んで、その単価が高くなるとその消費税の10%は大きい。また、スーパーの食品売り場で買い物をする時、レジカードを使うと、小計金額と消費税額が表示されるが、

「商品に対しての金額は仕方がないけど、消費税という無形のものに対する支払いは、買い物欲を下げるね。」

と、母がよく言う。消費税とは、税金とは何か。学校に行く時、整備された道路に、横断歩道や信号機で、安全の確保がされている。学校では、教室や体育館、グラウンド、プールにトイレ、水道なども、きちんと設備が整い、何の不自由も感じない。エアコンのある教室で、勉強に集中することもできる。私達は知らない間に、生活のあらゆる所で、税金にお世話になっている。市役所や病院、図書館などもユニバーサルデザインで、色々な年齢層や身体の不自由な人も、利用しやすいようになっていく。私達の快適な生活は、税金によって作られ、守られているのだ。祖父から以前聞いた話だと、戦時中、戦後は、学校に行くのに、山道やあぜ道を一時間弱かけて通学していたそうだ。保育園などもなく、祖父の姉は、背中に赤ちゃんだった祖父を背負って学校に通ったこともあるそうだ。信じられない話に、驚いたのを覚えている。昔話をよくしていた祖父は、何でも便利になったと、口癖のように言っていた。社会は間違いなく、快適に変化している。

では、どのような税金が存在するのだろうか。私は、社会は大好きな教科の一つだ。三年で習う公民では、私達の生活に関わる事について学べるのでとても楽しみだ。税金には直接税と間接税とがあるそうだ。消費税は間接税で、購入者がその商品に対して払う税金だ。そのほか、所得税や市民県民税自動車税など納税者が直接納める税金を直接税という。母がよく、「国保税が高いから、大変。」と言うが、この前病院に行ったら無料だったのだから尋ねたら、高校卒業まで医療費は無料らしい。税金は、社会福祉を助けている。

私達は、これから、少子高齢化社会を生きることになる。ますます世の中が厳しくなりそうな予感がするが、私達に出来ることは何だろうか。環境問題や社会全体の問題解決のためにも、母が言った「無形」の税金は結果的には、「有形」となり社会を助けるであろう。やはり、納税は国民の義務であると、私は思う。